

1 目的

(1) 指導力向上

教科指導の充実を図るために、専門的な指導を通して、教員個々の資質向上を図ります。

(2) 豊かな人間性の育成

生徒一人一人が互いに認め合い、尊重し合い、共感し合って温かい人間関係をつくろうとする心の育成を図ります。

2 内容

(1) 指導力向上

教科指導について、滝本清三先生（木田塾道場 尾張合気会 会長 七段）を講師に招き、教科指導（保健体育）で武道指導（合気道）として体育科教諭を中心に2年生女子を対象にして実施しました。（12／6・9・10）

(2) 豊かな人間性の育成

ア 互いに認め合い、尊重し合う心の育成を図るために、大野壽子さん（メイク・ア・ウィッシュオブジャパン理事）を講師に招き、1，2年を対象に人権講演会（11／17）を実施しました。

イ 命の大切さや尊さを知り、自分や他人を大切にしようとする心の育成を図るために、伊藤幸子氏（名古屋医専教務部主事）を講師に招き、命の授業（11／24・25）を実施しました。

ウ 生徒が、本格的な合唱を聴くことを通して感動を味わうことや、市民ボランティアを中心とした合唱団や地域の演奏者の方々とのふれあいを通して人々の温かい心に触れることで豊かな心の育成を図るために、学校運営協議会の主催で照喜名純子先生（照喜名一男先生 奥様）を講師に招き、地域の合唱団や演奏者による芸術鑑賞会「2021音楽の集い」（12／8）を実施しました。

3 評価

(1) 指導力向上

本校教員は43名中、教員経験年数6年以内が14名（32％）と約3分の1を占めています。若い教員をはじめとして経験年数が少ない教師集団です。新学習指導要領のもと、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善が重要視されており、さらに各教科指導の充実のために教員の授業力アップを図る必要があります。



【保健体育 武道指導（合気道）】

(2) 豊かな人間性の育成

ア 「人権講演会『夢に向かって一緒に走ろう』」では難病と闘う子どもの夢をかなえる手伝いをする、メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン理事である、大野壽子さんに今年度も講演をしていただきました。昨年度参加していない1・2年生を対象に実施しました。障がいをもつ子供の夢の実現を支援する活動についての話を聴き、障がいの有無に関わらず、夢をもち、実現させようと努力することの大切さについて学ぶ講演会となりました。

イ 「命の授業」は、毎年1年生を対象として実施しています。伊藤先生の指導は大変丁寧で分かりやすく、子どもたちに生命誕生のすばらしさや命の大切さを教えてくださいました。また、助手として多くの学生を連れて指導に当たっていただきました。生徒の感想では、「今の自分が産まれてきたことは奇跡的なことで、命の奥深さを感じました。」「大変な思いをして自分を産んでくれたお母さんに感謝し、産まれてきた自分の命を大切にするとともに、他人の命も大切にする。」など、命を大切にしようとする声が聞かれました。また、自他を大切にする気持ちを高めることができました。

ウ 照喜名純子先生の声かけで集まり、練習を積み重ねた市民合唱団や、演奏家の方々による「2021音楽の集い」は、交響曲第9番「合唱付き」第四楽章「歓喜の歌」が大ホールに響き渡り、生徒全員の身体と心を揺るがすものでした。本来なら、生徒もこの合唱に参加する予定でしたが、合唱練習の制限でできませんでした。しかし、調和のとれた歌声や演奏が、この場に集った方々の生徒に向けた温かい心のメッセージとして心に残りました。



【 2021音楽の集い 】

4 課題

特色ある学校づくり推進事業により、生徒はさまざまな取組を通して体験から学ぶ機会が増えました。しかし、今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のために授業や部活動、学校行事が様々な制約のもとで行われました。そのために、新型コロナウイルス感染症に関してつらさを抱えた生徒が増えてきました。日々変化する社会的な事象や問題でつらさを抱える生徒にも気づき、配慮、支援できる学校体制や教員集団を作り上げていくことが急務です。

今後も、学んだことを活用する場や学びを通して、自己の成長が実感できる振り返りの場などを工夫し、さらに生徒の自己肯定感を高め、主体性を伸ばしていくことが課題であると考えます。

次年度以降も引き続き、保護者や生徒、地域からの信頼を得るためには、教育活動のさらなる向上や発展を目指して「当たり前のことが当たり前のできる生徒・教師」をキーワードに、全職員が力を合わせ質の高い教育活動を展開していきたいと考えています。